ハンドタコメータ	MODEL5600, MODEL5601
接触測定用アダプタ	MODEL8089
延長光電プローブ	MODEL8090

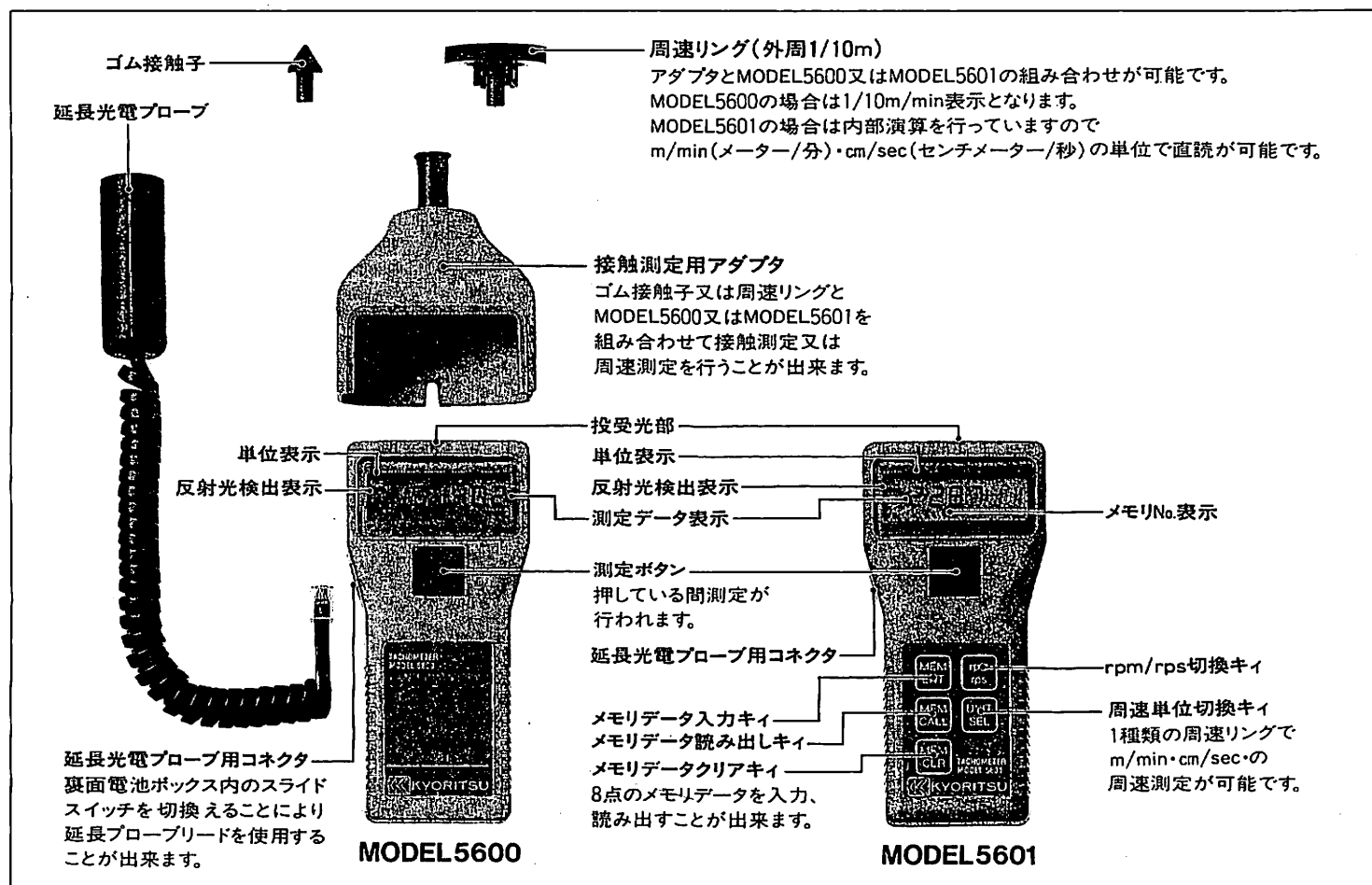
取 扱 説 明 書

このたびはハンドタコメータをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書をお読みくださるようお願いいたします。

1. 製品の種類

品　名	形　式	内　容
ハンドタコメータ	MODEL5600	MODEL5600本体 単4電池4本 スコッチライトテープ10枚
ハンドタコメータ	MODEL5601 (8点メモリ・表示単位切換)	MODEL5601本体 単4電池4本 スコッチライトテープ10枚
接触測定用アダプタ	MODEL8089 (MODEL5600・MODEL5601のどちらにも使用可能)	アダプタ本体 ゴム接触子3個 周速リング(外周1/10m)
延長光電プローブ	MODEL8090 (MODEL5600・MODEL5601のどちらにも使用可能)	延長光電プローブ (φ21 リード最大伸長1m)

⚠ 計量法により日本国内にて使用される製品には、ヤード、ポンド法による表示(ヤード、フィート、インチ等)の機能はついておりません。

3. ご使用前の準備

3.1 電池の取付

(1) ハンドタコメータ本体の背面にあるカバーの▤部分を指で押し本体の下方へずらしカバーをはずします。

(2) 本体裏面のスライドスイッチをON(本体のみ、本体+アダプタで使用)又はOFF(延長光電プローブ使用)にセットします。

(3) 付属の電池(単4)4本を本体裏面に描いてある形どうりに正しく入れます。

(4) 本体裏面にカバーを被せ、本体上方へずらし、カバーをします。

3.2 反射テープの貼付…非接触式で使用のとき

付属のスコッチライトテープを長さ1〜3cmに切り、裏面のクラフト紙をはがして回転体に圧着します。

◎ テープを貼る場所の油や汚れは、よく拭いてください。

◎ テープはできるだけ回転体の外周に近い位置に貼ってください。

3.3 接触測定用アダプタの取付…接触式で使用のとき

ハンドタコメータの背面に付いているロックネジをゆるめ、接触測定用アダプタを本体上方より差し込み、ロックネジをドライバーで回し固定します。ドライバーがないときはコインでも締めつけができます。接触アダプタは使用中にゆるまないよう固く締めつけて下さい。

3.4 延長光電プローブの取付

本体電池ボックス内のスライドスイッチをOFF側にし本体左側のモジュラージャックコネクタに延長光電プローブのコネクタを差し込んで下さい。

2. 各部の名称

4. 測定法

4.1 非接触用としてご使用のとき

(1) 本体又は延長光電プローブと貼付けたテープの距離を5～30cmにし、また光の投射角度が±30°以内に入るようにします。

(2) 測定スイッチを押し、表示部に"⇦"マークが出ていることを確認してから測定値を読みとります。

(3) 測定スイッチをはなすと、測定値はそのまま約3分間保持され、その後電源がOFFとなります。
MODEL5601にてキィ操作を行った場合は、キィ操作から約3分後に電源がOFFとなります。

注 意

◎ 回転体に貼りつけたテープにストロボや螢光灯の光など断続した光が入らないようにしてください。

◎ 回転体を起動する前にテープに光をあて測定状態にて0.0rpmと表示することを確認します。
外部の光の影響があるときは0.0rpm以外の表示が出ますので、タコメータの位置を変えるか外部の光を遮ぎってください。

4.2 接触用としてご使用のとき

(1) 回転数を測定するときは、ゴム接触子を使用して回転体の軸中心に直角にあてて測定します。

(2) ベルトなどの周速を測定するときは、先端についているゴム接触子を周速リングと交換してください。
周速リングの取付けは、ゴム接触子を手で抜き、次に周速リングの軸に付いている出っ張りをアダプタ軸の切り欠き部に合わせ押し込みます。確実に取付いていることを確認して下さい。
周速リングをはずす時は軸方向に強く引っ張って下さい。
周速リング使用のときは、MODEL5600にて測定したrpmの値を1/10にしてm/minの単位で読みかえてください。
例）1234.5rpm表示の場合は123.45m/min
MODEL5601にて測定する場合は、周速単位切換キィにて、希望の周速単位に切換えれば直読することができます。

(3) 周速の測定のときは測定対象物の移動方向と平行になるように周速リングを押し当てて下さい。

5. MODEL5601のキィ操作

5.1 測定単位切換について

(1) [RPM/RPS] キィにて測定単位をrpm又はrpsにすることが可能です。
キィを押す毎にrpm・rpsが交互に表示されます。

(2) [UNIT SEL] キィにて周速測定の単位を切換えることが出来ます。
キィを押す毎に、m/min・cm/sec・の順に表示されcm/secの次はm/minに戻ります。rpm単位に戻すときは [RPM/RPS] キィを押して下さい。

5.2 8点メモリについて

(1) [MEM ENT] キィを押すことにより、計測データを単位を含めてメモリすることが出来ます。キィを押す毎にメモリNo.1からNo.8までメモリされ、LCD上にM1～8が表示されます。No.8までメモリがはいっている場合はそれ以上はメモリはできません。

(2) [MEM CALL] キィを押すことにより、メモリされているデータを呼び出すことが出来ます。キィを押す毎にメモリNo.1からNo.8の順にメモリが呼び出され、No.に対応してM1～8が点滅します。

(3) [MEM CLR] キィを押すことにより、No.1～8の全てのメモリがクリアされます。

CE

本機は以下のEMC規格を満足しています。
EMI：EN50081-1
EMS：EN50082-1
但し、延長光電プローブを使用しない条件でテストしています。

6. 電池の交換

表示部の左側に"[B]"マークが出たら電池を交換します。
電池の交換は「3.1電池の取付」と同じ方法で行なってください。

注 意

◎ 電池はすべて新しいものと交換してください。

◎ マンガン電池とアルカリ電池などのように種類の異なる電池が混ざらないようにしてください。

7. 保 管

湿気の多い場所、直射日光の当る所、高温の所、振動の激しい所、ちり、ごみ、塩分、腐食性ガスの多い所での保管は避けてください。また長期間使用しないときは電池を取りはずしてください。

8. 仕 様

測定方式　周期測定割算方式
非接触式：反射テープによる反射光検出
検出距離 50～300mm
（付属のテープ10×10mmを使用し投射角度±30°以内にて）
接 触 式：非接触式回転計に接触測定用アダプタ及び接触子を取り付ける
接触子は円錐形硬質ゴム製接触子又は周速リング

形 式	MODEL5600	MODEL5601
測定範囲	30.0～30000.0 rpm	30.0 ～30000.0 rpm 0.50～ 500.00 rps 3.00～ 3000.00 m/min 5.00～ 5000.00 cm/sec
分解能	0.1rpm	0.1rpm・ その他は0.01
精度	±0.01%±1digit rpm・m/min （その他の単位は変換誤差を含め±0.05%±1digit）	
サンプリング時間	1.0～2.0秒	
表示部	測定データ表示：6桁LCD バッテリアラーム表示：[B] マーク 反射光検出表示：⇦ マーク	
	単位表示：rpm	表示単位：rpm・rps・m/min cm/sec・ 8点メモリNo.表示：M1～8
オートパワーオフ	最終測定より3分後	最終測定又はキィ操作より3分後
データ記憶時間	測定データ：オートパワーオフまでの3分間	
		メモリデータ：電池寿命まで
測定方式	本体及び延長プローブの場合非接触式（スコッチライトテープにて） アダプタ使用の場合接触式（ゴム接触子・周速リングにて）	
検出距離	50～300mm（スコッチライトテープにて）	
電源	アルカリ電池単4、4本（連続使用20時間）	
使用温度	5～40°C（動作は0～50°C）	
寸法及び重量	122×58(46)×28mm 140g	

●記載事項はお断りなく変更する場合がありますので御承知下さい。

92-1346

共立電気計器株式会社
本社営業部－〒152 東京都目黒区中根 2-5-20
☎03(3723)7021 FAX. 03(3723)0139
大阪営業所－〒564 吹田市垂水町 3-16-3 江坂三昌ビル 6F
☎06(337)8648 FAX. 06(337)8590
四国営業所－〒797 愛媛県東宇和郡宇和町坂戸 480
☎0894(62)1171 FAX. 0894(62)5531
仙台事務所－〒983 仙台市宮城野区原町 1-3-21 仙塩レジデンス 308
☎022(297)9671 FAX. 022(298)8009
工 場－東京・宇和島・愛媛